予算要求課	教育委員会事務局	文化財課	内線 2354
3 31 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	37113232	A 4 1 - 410 MIL	

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	7	文化財費
事業	(名	94703	市内遺跡発掘	屈調査	. 45			

新規	継続	拡大	縮小
	0		

事業費(人件	- 費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		5,000	5,006	6	4,800	要求に対し積算内容を精査	4,800	財務部査定どおり
	国庫支出金	2,500	2,500	0	2,400		2,400	
	県支出金			0				
財源内訳	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	2,500	2,506	6	2,400		2,400	

以下は予算要求時の内容

重	業	$\overline{\mathbb{Q}}$	伙

市内にある埋蔵文化財の発掘調査。開発事業に伴う試掘確認及び範囲確認調査などを行い、埋蔵文化財の保護・活用等をはかり、次世代に伝える。

事業実施の課題

開発事業者との調整。文化財指定に向けた文化庁等との折衝。

事業概要

周知の埋蔵文化財包蔵地内での開発行為にともなう試掘確認調査、範囲確認調査。 遺跡保存のための範囲確認調査。

計画·実績·見込	H21実績	H22見込	H23計画
試掘・範囲確認件数(件)	4	2	2
指定にむけた検討のための確認調査件数(件)		2	2

|成果

様々な開発行為の対応を行うとともに、新たな歴史の発掘をする。

(4)「ゆたかさ	」のあるまちを	めざして	
文化			
(1)郷 <i>=</i>	Lの歴史や伝統	充文化を守り次	八代に伝える
文 D	て化財などの保	存∙継承	
②実施計画・中期	財政計画		
5「ゆたかさ」の	りあるまちをめ	ざして	
(4)文化			
ソフト			
市内	遺跡発掘調査	事業	
③事業評価			
事業名			今後の方向性
評価区分			
コスト・成果ポ ジション	コスト	成果	
実施方針		•	
④市長の約束			

-				
I	予算要求課	教育委員会事務局	文化財課	内線2355

款 9	教育費	項 4 社会教育費	日 7 文化財費	
事業名	94710	郷土資料・図書購入事業		

新規	継続	拡大	縮小
	0		

事業費(人作	‡費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		20,000	12,000	△ 8,000	12,000	計画額の要求どおり	12,000	財務部査定どおり
	国庫支出金	0	0	0				
	県支出金	0	0	0				
財源内訳	起債	0	0	0				
7.7.4.3.4.5.4.4	その他	0	0	0				
	一般財源	20,000	12,000	△ 8,000	12,000		12,000	

12001 1111	,		-,
以下は予算要求時の内容			
事業の目的			
郷土資料及び図書の充実により、市民の郷土学	習に役立てるとともに	、次世代へ貴重な文化	財を継承する。
事業実施の課題			
事業概要			
『木帆ター 			
計画·実績·見込	H21実績	H22見込	H23計画
購入資料件数(件)	<u></u>	25	
期入具科计数(计)	10 	25	10
-A-T	l .		
<mark>成果</mark>			
貴重な郷土歴史資料の流失、散逸防止			
公有化による郷土館等での展示公開や調査研究	党料としての活用		
要求額増減理由			
旧矢嶋邸跡地等整備事業に伴う展示用資料購	入分の減(H22実施)		

	さ」のあるまちを	めらして						
文化								
(1)郷	(1)郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える							
①	文化財などの保	存∙継承						
②実施計画・中期	朝財政計画							
5 「ゆたかさ	このあるまちをぬ	ざして						
(4)文化								
ソフト								
歴!	<mark>史資料購入事業</mark>							
③事業評価								
事業名	歴史資料	 購入事業	今後の方向性 歴史資料は活用方法を踏まえたうえでの購入が基本であり、旧矢					
評価区分	II	I	「鳴野整備と並行し、より多くの方々に貴重な資料を見ていただけるよ					
コスト・成果ポ	コスト	成果	→うな資料の活用方法を検討する必要がある。そのためには来年度以 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					
ジション	中	中	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一					
実施方針	「Ⅱ」以上の水準に	向けた改善が必要						

予算要求課	教育委員会事務局	文化財課	内線 2355

款		教育費	項 4 社会教育費	目 7 文化財費
事業名	Z	94730	文化財保護事業補助金	

新規	継続	拡大	縮小
	0		

事業費(人件	- 費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		6,153	6,993	840	6,069	要求に対し積算内容を精査	6,069	財務部査定どおり
	国庫支出金	0	0	0				
	県支出金	0	0	0				
財源内訳	起債	0	0	0				
	その他	0	0	0				
	一般財源	6,153	6,993	840	6,069		6,069	

以下は予算要求時の内容

事業の目的	
-------	--

文化財資源の保存・管理・継承のため、文化財保護団体の活動を支援する。

事業実施の課題

伝建地区保存会、高山祭屋台管理、からくり屋台管理、屋台保存技術、市指定文化財管理、史跡保存会 伝承芸能保存団体等各団体への助成

計画·実績·見込	H21実績	H22見込	H23計画
対象団体数(団体)	38	38	68

|成果

今後も文化財を後世に伝えていくため、効果が期待できる

要求額増減理由

対象件数の増

· · • · · · • · · · • · · • · · · · · ·	このあるまちを	we c	
文化		<u> </u>	_ /h, _ h_ = =
	上の歴史や伝統		代代に伝える
①文	化財などの保	存∙継承	
②実施計画・中期	財政計画		
5 「ゆたかさ	」のあるまちをも	めざして	
(4)文化			
ソフト			
文化	;財保護事業		
③事業評価			
事業名			今後の方向性
評価区分			<u>-</u>
コスト・成果ポ ジション	コスト	成果	
実施方針	改善	継続	

予算要求課	教育委員会事務局	文化財課	内線2355

款 9	教育費	項 4 천	t会教育費	目	7	文化財費
事業名	94735	県指定文化財保存修	§理事業補助金			

新規	継続	拡大	縮小
	0		

事業費(人件	-費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		0	618	618	0	要求後、H22年度予算にて実施済	0	財務部査定どおり
	国庫支出金	0	0	0				
	県支出金	0	412	412				
財源内訳	起債	0	0	0				
	その他	0	0	0				
	一般財源	0	206	206	0		0	

以下は予算要求時の内容										
事業の目的										
岐阜県指定文化財の保存修理補助を通じ、文化遺産の保存・活用を図り次世代に伝える。										
事業実施の課題										
事業概要										
県指定文化財の修理等に対する助成										
<u>計画·実績·見込</u>	H21実績	H22見込	H23計画							
補助件数(件)	2	0	1							
成果										
文化財の適切な管理と保存。										
要求額増減理由										
昨年度は修理希望が無かったため。										

文化			
		統文化を守り次	代に伝える
	化財などの保	存∙継承	
②実施計画・中期	財政計画		
5「ゆたかさ	のあるまちを	めざして	
(4)文化			
ハード			
指定	文化財保存的	逐理事業	
③事業評価			
事業名			今後の方向性
評価区分			··· <u>·</u>
コスト・成果ポ ジション	コスト	成果	
実施方針			7
④市長の約束			

予算要求課	教育委員会事務局	文化財課	内線	2354

款 9	教育費	項 4	社会教育費	目	7 文化財費
事業名	94740	市指定文化財保存	序修理事業補助金		

新規	継続	拡大	縮小
	0		

事業費(人件	-費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		0	11,711	11,711	11,600	要求に対し積算内容を精査	11,600	財務部査定どおり
	国庫支出金	0	0	0				
	県支出金			0				
財源内訳	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	0	11,711	11,711	11,600		11,600	

以下は予算要求時の内容

事	丵	$\boldsymbol{\omega}$	\Box	伙

高山市指定文化財の保存修理補助を通じ、文化遺産の保存・活用を図り次世代に伝える。

事業実施の課題

修理希望が多く、調整を行い計画的に実施するため、修理希望者の希望する年度に、補助することが出来ない場合がある。

事業概要 市指定文化財の修理等に対する助成

計画•実績•見込	H21実績	H22見込	H23計画	
補助件数(件)	2	0		2

文化財の適切な管理と保存。

要求額増減理由

昨年度は修理希望が無かったため。

(4)「ゆたかさ	「」のあるまちを	めざして	
文化			
····	Lの歴史や伝統		代に伝える
ك ر 🗓	化財などの保	存∙継承	
②実施計画・中期			
5 「ゆたかさ	」のあるまちをと	めざして	
(4)文化			
ハード			
指定	文化財保存修	理事業	
uti			
事業名			今後の方向性
評価区分			<u></u>
コスト・成果ポ ジション	コスト	成果	
実施方針		•	
④市長の約束			

金額の単位は、千円

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	7	文化財費
中	業名	94745	文化財関係	事務費				

新規	継続	拡大	縮小
	0		

事業費(人件	+費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		1,147	3,893	2,746		要求に対し積算内容を精査	1,147	財務部査定どおり
	国庫支出金			0		前年予算と同額		
	県支出金	86	86	0	86		86	
財源内訳	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	1,061	3,807	2,746	1,061		1,061	

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
-200			
文化財保護行政の円滑な執行を図る。			
事業実施の課題 			
事業概要			
文化財関係事務			
人 化 別 民 休 争 份			
計画·実績·見込	H21実績	H22見込	H23計画
或果			
文化財保護行政の円滑な執行			
·····································			
<mark>要求額増減理由</mark> 天然記念物ニホンカモシカの保護対応経費や原	5.計約 華 の 梅		
大松記必物―小ノカモシカの休護対心を負や原	は付付其の垣		

実施方針	①総合計画			
③事業評価 今後の方向性 事業名 今後の方向性 評価区分 コスト・成果ポジション 実施方針 コスト 成果				
事業名 今後の方向性 評価区分 コスト・成果ポ コスト 成果 ジション 実施方針	②実施計画・中期	明財政計画		
事業名 今後の方向性 評価区分 コスト・成果ポ コスト 成果 ジション 実施方針				
事業名 今後の方向性 評価区分 コスト・成果ポ コスト 成果 ジション 実施方針	②車業証価			
コスト・成果ポ コスト 成果 ジション 実施方針	·			今後の方向性
ジション 実施方針		-71	+ =	
	ジション	コスト	以果	
	実施方針 <mark>④市長の約束</mark>			
				

予算要求課	教育委員会事務局	文化財課	内線2355

款	9	教育費	項	ī	4	社会教育費	目	7	文化財費
事業	名	94750		発事					

新規	継続	拡大	縮小
		0	

事業費(人件	‡費除く) 	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		1,000	5,100	4,100		文化財ガイドパンフレット、デジタルマップは、今後の		財務部査定どおり
	国庫支出金	0	0	0		活用について検討の余地があるため増額要求分は見		
	県支出金	0	0	0		送り 前年予算と同額		
財源内訳	起債	0	0	0		別サプチと内徴		
	その他	0	0	0				
	一般財源	1,000	5,100	4,100	1,000		1,000	

以下は予算要求時の内容

事	業	の	目	的

文化財の活用・啓発により、市民の文化財保護意識の向上を図る。

事業実施の課題

事業概要

指定文化財等の位置、内容等を記載した説明看板、石柱等の作製。文化財のガイドパンフレットの作製頒布及びインターネットで閲覧できる文化財デジタルマップの整備。

計画·実績·見込	H21実績	H22見込	H23計画
文化財標柱等設置数(箇所)	11	12	15

成果

順次計画的に設置がなされ、見学者等の利便が図られるとともに、文化財保護の精神が高まる。

要求額増減理由

新規の文化財ガイドパンフレット作製、文化財デジタルマップ整備による増

①総合計画			
(4)「ゆたかる	さ」のあるまちを	めざして	
文化			
(1)郷	土の歴史や伝統	充文化を守り次代	やに伝える
2	親しみ理解する	機会の充実	
②実施計画・中	期財政計画		
5 「ゆたかさ	このあるまちをぬ	かざして	
(4)文化			
ハード	•		
文	化財標柱整備事	業	
③事業評価			
事業名			今後の方向性
評価区分			<u>-</u>
コスト・成果ポ ジション	コスト	成果	-
実施方針			7
④市長の約束			<u> </u>

9 伝統文化を守り、次代へ継承します

国内外から訪れる多くの観光客に名所旧跡、文化財等をわかりやすく紹介するため、パンフレット、説明 看板等の整備や、人と人とのつながりを大切にする語り部の育成に取り組みます

9 伝統文化を守り、次代へ継承します

予算要求課	教育委員会事務局	文化財課	内線 2355

款	9	教育費	項	4 社会教育費	目	7	文化財費	
事業	~	94753	世界文化遺產	産登録推進事業				

新規	継続	拡大	縮小
	0		

事業費(人作	‡費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		1,000	2,450	1,450		世界無形文化遺産の登録が見送りとなったため、増	900	財務部査定どおり
	国庫支出金	0	700	700	600	額要求分は見送り	600	
	県支出金	0	0	0				
財源内訳	起債	0	0	0				
	その他	0	0	0				
	一般財源	1,000	1,750	750	300		300	

以下は予算要求時の内容

事業の目的

く有形>世界遺産は日本に文化遺産が11件、自然遺産が3件登録されており、今後も「飛騨高山の町並と祭礼の場」を登録に向けて取り組む。

く無形>H20年度から登録が始まり、H22現在で日本から16件が代表リストに掲載されている。「高山祭の屋台行事」はH21にユネスコへ提案され、登録のため審査を待つ状況である。

これら有形無形の登録に向けて、啓発活動等を行い、文化財に対する市民の意識向上を図る。

事業実施の課題

- ユネスコにおける無形遺産の登録審査が滞っている。
- ・国の文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業が新規事業として概算要望中で未確定である。

事業概要

世界文化遺産登録に向けて、修正案の作成、啓発活動等。

地域の歴史を守り伝える活動や技術の伝承を担う人材の育成を行う歴史ボランティア育成支援事業

計画·実績·見込	H21実績	H22見込	H23計画
啓発件数(件)	105	100	100

成果

啓発活動を通じて、地域の歴史を大切にする意識が向上する。

要求額増減理由

無形遺産登録記念事業開催経費の増

①総合計画			
(4)「ゆたかる	このあるまちを	めざして	
文化			
(1)郷.	土の歴史や伝統	統文化を守り次	て代に伝える
ئ ڻ	て化財などの保	存∙継承	
②実施計画・中期			
5「ゆたかさ	」のあるまちを	めざして	
(4)文化			
ソフト			
歴史	セボランティア育	『成支援事業	・ 世界文化遺産登録推進事業
③事業評価			
事業名			今後の方向性
評価区分			
コスト・成果ポ ジション	コスト	成果	
実施方針			<u> </u>
④市長の約束			

国内外から訪れる多くの観光客に名所旧跡、文化財等をわかりやすく紹介するため、パンフレット、説明

看板等の整備や、人と人とのつながりを大切にする語り部の育成に取り組みます

予算要求課	教育委員会事務局	文化財課	内線	2356	

款	9	教育費		項	4	社会教育費	目	7	文化財費
- 14 3	Ě名	94754	歴史的	勺風致 約	推持向	上事業	-		

新規	継続	拡大	縮小
		0	

事業費(人件	‡費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		8,000	11,000	3,000		要求に対し積算内容を精査	8,000	財務部査定どおり
	国庫支出金	1,666	9,000	7,334	6,000	前年予算と同額	6,000	
	県支出金			0				
財源内訳	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	6,334	2,000	△ 4,334	2,000		2,000	

以下は予算要求時の内容

事業の目的

飛騨の長い歴史と伝統によって構築された歴史的建造物とその周辺市街地、またその場所における歴史、伝統を 反映した人々の活動など、高山市の歴史的風致の維持向上を進め、伝統文化を守り次代へ継承する。

事業実施の課題

国の文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業が新規事業として概算要望中で未確定である。

事業概要

美しいふるさと認証制度調査、歴史的建造物群耐震化対策

祭礼復興事業、ふるさと伝承記録の整備

計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
ふるさと伝承記録件数(件) 祭礼復興支援件数(件)	1	1	
· —			

成果

市内の歴史的風致の向上に大きな成果が期待できる。

要求額増減理由

美しいふるさと認証制度調査事業経費の増

①総合計画	
(4)「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
文化	
(1)郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える	
②歴史・文化を活用したまちづくり	
②実施計画・中期財政計画	
5 「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
(4)文化	
ソフト ふるさと伝承記録整備事業	
ハード 歴史的建造物群耐震化等対策事業	城下町歴史的風致維持向上事業

③事業評価 城下町歴史的風致維持向上事業 評価区分 Ⅲ コスト・成果ポッション コスト 成果 実施方針 「Ⅱ」以上の水準に向けた改善が必要

今後の方向性 旧矢嶋邸の整備については計画通り開館できるよう事業を進める必要がある。また、祭礼復興事業については、「神楽舞」の復活に見られるように地元の方々の協力が不可欠であるため、今後も保存会などと連携した取組みが必要である。

④市長の約束

9 伝統文化を守り、次代へ継承します。

高山固有の美しさを守り続け、歴史的、社会的に価値ある有形無形の伝統文化や文化財などの資源を保存活用するために、美しいふるさと認証制度を創設します。

金額の単位は、千円

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	7	文化財費
	業名	94755	伝統的建造:	物群保	ໄ存地区保存事業費			

新規	継続	拡大	縮小
	0		·

事業費(人件	‡費除く)	H22当初予算額	H23要求額		財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		50,500	41,000	△ 9,500	40,500	要求どおり	40,500	財務部査定どおり
	国庫支出金	25,000	20,000	△ 5,000	20,000	前年予算に対し実施件数の減	20,000	
	県支出金			0				
財源内訳	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	25,500	21,000	△ 4,500	20,500		20,500	

以下は予算要求時の内容

事業の目的

重要伝統的建造物群保存地区の保存により市民の文化的向上に資するとともに文化遺産の保存・活用を図り、次世代に伝える。

事業実施の課題

予算の都合上修理修景希望者の希望する年度に、補助することが出来ない場合がある。

事業概要

重要伝統的建造物群保存地区の修理、修景に対する助成。

F			
修理補助件数(件) 修景補助件数(件)	8	10 4	6 2

成果

伝建地区内及び周辺地域の活性化、永続的な建造物の保存。

要求額増減理由

計画的実施による減。

文化		ぎして				
	るおいとおちつき	をもたらす美し	い景観を形成する			
①個性のある景観の保全						
②実施計画・中	期財政計画					
5「ゆたかる	き」のあるまちをぬ	りざして				
(4)文化						
ハート	:					
歴	史的町並保存事	業				
③事業評価						
------ 事業名	麻中的肝炎	 位保存事業	今後の方向性			
尹未石	[正文[1][1]	上体行争未	飛騨高山の最も重要な地域資源を守るために本事業は重要であり、			
評価区分	I	Π	コスト縮減図りながら、計画的に実施していく必要がある。			
コスト・成果ポ	コスト	成果				
ジション	中	中				
実施方針	「Ⅱ」以上の水準に	向けた改善が必要				

金額の単位は、千円

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	7	文化財費
事	業名	94757	伝統的建造物群保存地区防災対策事業費					

新規	継続	拡大	縮小
	0		

事業費(人件	- 費除く)	H22当初予算額	H23要求額		財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		40,000	40,000	0		要求どおり	40,000	財務部査定どおり
	国庫支出金	20,000	20,000	0	20,000	前年予算と同額	20,000	
	県支出金			0				
財源内訳	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	20,000	20,000	0	20,000		20,000	

以下は予算要求時の内容

事業の目的

|重要伝統的建造物群保存地区の防災、保存により、文化遺産を次世代に伝える。

事業実施の課題

土蔵修理希望者が多く、希望年度に補助できない場合がある。

事業概要

重要伝統的建造物群保存地区の土蔵、グループ自動火災報知器の整備に対する助成

計画·実績·見込	H21実績	H22見込	H23計画
対象件数(土蔵)(件)	5	7	5
対象件数(グループ自動火災報知器)(件)	1	2	2

成果

国選定重要建造物群保存地区の初期消火・防火機能の強化

(2)すみよさのあるまちをめざして							
文化							
(1)うるおいとおちつきをもたらす美しい景観を形成する							
①個性のある景観の保全							
②実施計画・中	期財政計画						
5 「ゆたかる	さ」のあるまちをぬ	りざして					
(4)文化							
ハード							
歴	史的町並防災対	策事業					
3事業評価							
± 44. A	FF + 44 FF 34 F		今後の方向性				
事業名	歴史的町亚 	5 災対策事業	飛騨高山の最も重要な地域資源を守るためにも本事業は重要であ				
評価区分	I	I	り、コスト縮減を図りながら計画的に実施していく必要がある。				
コスト・成果ポ	コスト	成果					
ジション	中	中					
実施方針	「Ⅱ」以上の水準に	向けた改善が必要					
4市長の約束	<u> </u>						

金額の単位は、千円

款	9	教育費	項 4 社会教育費	<u>目</u> 7 文化財費
事業律	9	94758	歷史的町並再生事業	

新規	継続	拡大	縮小
	0		

事業費(人作	‡費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		198,000	255,580	57,580	255,210	要求どおり	255,210	財務部査定どおり
	国庫支出金	91,200	115,010	23,810	114,565		114,565	
	県支出金			0				
財源内訳	起債			0				
	その他		910	910	910		910	
	一般財源	106,800	139,660	32,860	139,735		139,735	

以下は予算要求時の内容

事業の目的

下二之町大新町地区に建ち並ぶ伝統的建造物群を活かした道路修景と町並の整備・改善を行い、文化遺産の保存・活用を図り次世代に伝える。

事業実施の課題

無電柱化路線合意が1年遅れたため、H24年完成が困難になってきている。

事業概要

下二之町大新町地区の電線地中化等

計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
整備延長(m)	450	570	770

成果

|景観の向上による、賑わいの創出。歴史的な町並の再現により、市民が誇りを持てる町並に変貌する。

要求額増減理由

H24年までに事業を完成するための経費の増

⊘ 60 A =1 T							
①総合計画							
(2)「すみよさ	このあるまちをめ	ざして					
文化							
(1)潤いとおちつきをもたらす美しい景観を形成する。							
1	個性ある景観の	保全					
②実施計画・中	期財政計画						
5「すみよ	5 「すみよさ」のあるまちをめざして						
(4)文化	(4)文化						
ハート	ハード						
歴	史的町並再生無	電柱化事業					
③事業評価							
事業名	歴史的町主		│ 今後の方向性				
争未石	歴史的叫』 	业舟工争未	飛騨高山の最も重要な地域資源を守るためにも本事業は重要であ				
評価区分	I	I	り、継続していく必要がある。また、新たな工法などについて情報収集においる。また、新たな工法などについて情報収集においる。また、新たな工法などについて情報収集においる。				
コスト・成果ポ	コスト	成果	 集に努め、更なるコスト縮減を図る必要がある。 				
ジション	高	高					
実施方針	「Ⅱ」以上の水準に	向けた改善が必要					
④市長の約束							

予算要求課	教育委員会事務局	文化財課	内線	2354

款	9	教育費	項	4	社会教育費	目	7	文化財費
事為	Ě名	94759	歴史遺産等	(로/구·	舌用事業			

新規	継続	拡大	縮小	
	0			

事業費(人件	‡費除く)	H22当初予算額	H23要求額	增減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		6,000	6,024	24		要求に対し積算内容を精査	4,900	財務部査定どおり
	国庫支出金			0		前年予算に対し事業量の減		
	県支出金			0				
財源内訳	起債			0				
	その他			0	566		566	
	一般財源	6,000	6,024	24	4,334		4,334	

以下は予算要求時の内容

事業の目的

歴史街道の整備、周知を行い、郷土の歴史や文化を次代に伝える。各支所域の歴史的建造物や近代化遺産、天然記念物など重要な資源の保存対策調査及び計画策定を行い、次世代に伝える。

事業実施の課題

土地所有者との調整。

事業概要

歴史街道の測量調査・復元整備・説明板設置、天然記念物の現況調査、地元農村景観保存組織立ち上げ支援。

計画·実績·見込	H21実績	H22見込	H23計画
調査(件)	1	2	4
看板設置(箇所)	1		
街道整備(箇所)		3	2

成果 これまでの歴史街道の調査、復元整備をすすめるとともに、天然記念物の現況把握や保存活用なども行うことがで きるようになる。

	」のあるまちをと	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
文化			
	土の歴史や伝統		代に伝える
25	・文化を活用	したまちづくり	
②実施計画・中期	財政計画		
5 「ゆたかさ	のあるまちをめ	ざして	
文化			
ソフト			
歴史	街道等活用事	業	
③事業評価			
± ** 2			今後の方向性
事業名			
評価区分			1
コスト・成果ポ	コスト	成果	1
ジション		<u> </u>	1
実施方針			1
④市長の約束			

事業別予算概要

予算要求課 教育委員会事務局 文化財課 内線 2355 金額の単位は、千円

款 9	教育費	項 4	社会教育費	目	7	文化財費
事業名	94760		§理事業費			

新規	継続	拡大	縮小
	0		

事業費(人作	‡費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		40,000	40,000	0		要求どおり	40,000	財務部査定どおり
	国庫支出金	20,000	20,000	0	20,000	前年予算と同額	20,000	
	県支出金	0	0	0				
財源内訳	起債	0	0	0				
	その他	4,000	4,000	0	4,000		4,000	
	一般財源	16,000	16,000	0	16,000		16,000	

以下は予算要求時の内容

事業の目的

国指定重要有形民俗文化財「高山祭屋台」及び屋台蔵の保存修理により、次世代へ貴重な文化財を継承する。

事業実施の課題

屋台保存技術の継承と屋台の維持 予算や国庫補助の都合上、希望年度に修理できない場合がある。

国指定重要有形民俗文化財「高山祭屋台」及び屋台蔵の保存修理。

計画·実績·見込	H21実績	H22見込	H23計画	
屋台修理件数(件) 屋台蔵修理件数(件)	5	2		2
_b_m				

屋台を後世に残すとともに、その修理技術も高山に残すことができる。

要求額増減理由

0.1			
①総合計画			
(4)「ゆたかる	と」のあるまちを	めざして	
文化			
(1)郷	土の歴史や伝統	充文化を守り次々	代に伝える
①7	文化財などの保	存∙継承	
②実施計画・中期	胡財政計画		
5 「ゆたかさ	」のあるまちをぬ	りざして	
(4)文化			
ハード			
屋台	台整備事業		
③事業評価			
事業名			今後の方向性
争未石			
評価区分			
コスト・成果ポ	コスト	成果	7
ジション			7
実施方針		•	
④市長の約束			

一般会計

予算要求課	教育委員会事務局	文化財課	内線 2355

款	9	教育費	項		4	社会教育費	目	7	文化財費
事業	套	94783	市史編集	丰業					

新規	継続	拡大	縮小
	0		

事業費(人件	‡費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		5,334	8,597	3,263		要求に対し積算内容を精査	7,734	財務部査定どおり
	国庫支出金	0	0	0		前年予算に対し市史発行による増		
	県支出金	0	0	0				
財源内訳	起債	0	0	0				
	その他	225	225	0	400		400	
	一般財源	5,109	8,372	3,263	7,334		7,334	

以下は予算要求時の内容

事業の目的

郷土の歴史を提供し伝統文化を維持向上する意識を高めてもらうため、高山市の歴史に関する資料収集や編集を行う。

事業実施の課題

- ・読みやすく分かりやすい市史となるよう努める。
- ・多くの人たちに見てもらえる手法の検討が必要。

事業概要

- ・市史編纂委員会の開催、資料収集と整理等
- ・高山市史編纂に係る調査、編集、刊行

計画·実績·見込	H21実績	H22見込	H23計画
市史編纂委員会の開催数(回)	0	0	2
. —			

成果

蓄積した資料や知識を活用することにより、高山市の歴史文化の保存・継承に寄与することができる。

要求額増減理由

資料等印刷費の増

文化								
(1)組	『土の歴史や伝統	放文化を守り次の	代に伝える					
1	文化財などの保	存∙継承						
②実施計画・中	期財政計画							
5 「ゆたかる	さ」のあるまちをぬ	りざして						
(4)文化								
ソフト								
市	史等編纂事業							
③事業評価								
事業名	古中笙》	巨質車業	今後の方向性					
事業名 市史等編纂事業			市史等の編纂作業の重要性は疑いようがないが、多額の予算・労力をかけて作成するにもか 一らず、その活用はごく一部に限られているのが現状である。そのため、編纂の段階から市民を考					
評価区分	I	V	み本事業の重要性を広く市民に知ってもらうことが重要である。					
コスト・成果ポ	コスト	成果	読みやすく判りやすい市史等となるよう努めるとともに、発刊した市史等についてはホームペープで公開するなど、多くの人たちに見てもらえる手法を検討する必要がある。					
ジション	高	中						
実施方針	「Ⅲ」以上の水準に	向けた改善が必要						

予算要求課 **|教育委員会事務局 文化財課 内線 2356**

款	9	教育費	項		4	社会教育費	目	8	文化財施設費
事第	Ě名	94800	飛騨高山ま	ちの	博	物館管理費		•	

新規	継続	拡大	縮小
		0	

事業費(人件	-費除く)	H22当初予算額	H23要求額		財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		5,497	44,092	38,595		要求に対し積算内容を精査		財務部査定どおり
	国庫支出金			0		飛騨高山まちの博物館オープンにかかる経常経費の		
	県支出金			0		'瑁		
財源内訳	起債			0				
	その他			0	400		400	
	一般財源	5497	44,092	38,595	30,935		30,935	

以下は予算要求時の内容

事業の目的

- ・郷土の歴史を知ってもらい郷土に対する愛着や伝統文化を維持向上する意識を高めるため、城下町地区を中心に市内をめぐる周遊拠点施設とする。
- ・市有の美術・歴史資料の展示を行い、市民・観光客に高山市の多彩な歴史と魅力を発信し、何度来ても新しい魅力を発見してもらえる誘客を図る。

事業実施の課題

- ・郷土の歴史・文化をいかにして多くの市民及び観光客に情報提供できるか。
- ・城下町地域を中心とした市内各所をめぐる拠点施設とすること。

事業概要

- 佐記の維持無理
- |・市有の美術・歴史資料を公開し、市民・観光客に歴史と魅力の情報提供する。

入館者数(人) 10,654 休館中 40,000	計画·実績·見込	H21実績	H22見込	H23計画
	入館者数(人)	10,654	休館中	40,000

成果

- •市民に郷土を知ってもらうことにより、郷土に対する愛着心や伝統文化を維持向上する意識の高揚を図る。
- ・観光客等に対し高山の多彩な魅力を発信することで、長期滞在型・リピーターの増加につなげ、継続的な誘客を図る。

- ・H22年度は休館中であったため
- │・施設面積の拡大による経費の増

(1)郷土の歴史や伝統文化を守り次代に伝える	文化	. בי המשינטיניו	づくりをめざして	
③親しみ理解する機械の充実 ②実施計画・中期財政計画 5 「ゆたかさ」のあるまちづくりをめざして (4)文化 ソフト・ハード 文化財保存施設等管理事業・文化財保存施設等維持補修・改修事業 ③事業評価 事業名 評価区分 コスト・成果ポジション 実施方針		しる田士はた		. / h _ h = 7
②実施計画・中期財政計画 5 「ゆたかさ」のあるまちづくりをめざして (4)文化 ソフト・ハード 文化財保存施設等管理事業・文化財保存施設等維持補修・改修事業 ③事業評価 事業名 評価区分 コスト・成果ポジション 実施方針				代に伝える
5 「ゆたかさ」のあるまちづくりをめざして (4)文化 ソフト・ハード 文化財保存施設等管理事業・文化財保存施設等維持補修・改修事業 ③事業評価 事業名 評価区分 コスト・成果ポジション 実施方針			機械の充実	
(4)文化 ソフト・ ハード 文化財保存施設等維持補修・改修事業 今後の方向性 字後の方向性 コスト・成果ポジション 実施方針				
ソフト・ハード 文化財保存施設等管理事業・文化財保存施設等維持補修・改修事業 ③事業評価 今後の方向性 事業名 今後の方向性 コスト・成果ポジション コスト 成果ジション 実施方針 ロスト・成果ポジション	5「ゆたかさ	」のあるまちづ	くりをめざして	
文化財保存施設等管理事業・文化財保存施設等維持補修・改修事業 ③事業評価 今後の方向性 事業名 コスト・成果ポジション 実施方針 コスト・成果ポジション	(4)文化			
事業名 今後の方向性 評価区分 コスト・成果ポジション 実施方針	ソフト	ハード		
事業名 今後の方向性 評価区分 コスト・成果ポリジション コスト 成果 実施方針 コスト 成果	☆ /	人时但左体 弧领	左答理車業 .	文化財保友体設室維持補格。改修車業
事業名 今後の方向性 評価区分 コスト・成果ポリジション コスト 成果 ジション 実施方針 実施方針	人 1	5岁1年17地议飞	16生于不	人 心的 体计心成分性 计删除 "以停于木
評価区分 コスト・成果ポ コスト 成果 ジション 実施方針		DM 体竹心改=	16在于木	人 化对 体 行 他 成 夺 性 1 可 間 1 多 。
コスト・成果ポ コスト 成果 ジション 実施方針	③事業評価	D#1 体17 心改习		
ジション 実施方針	③事業評価	D 树 体 竹 心 故 气		
ジション 実施方針	<mark>③事業評価</mark> 事業名			
実施方針	3事業評価 事業名 評価区分			
	事業名 評価区分コスト・成果ポ			
	3事業評価 事業名 評価区分 コスト・成果ポ ジション			

金額の単位は、千円

款	9	教育費	項 4	社会教育費	目	8	文化財施設費
	美名	94815	風土記の丘学習	センター等管理費	•		

新規	継続	拡大	縮小
	0		

事業費(人件	‡費除く)	H22当初予算額	H23要求額		財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		4,206	7,352	3,146	4,206	要求に対し積算内容を精査	4,206	財務部査定どおり
	国庫支出金	0	0	0		前年予算と同額		
	県支出金	0	0	0				
財源内訳	起債	0	0	0				
	その他			0				
	一般財源	4,206	7,352	3,146	4,206		4,206	

以下は予算要求時の内容

事業の目的

|各施設の適正管理や体験活動・啓発事業等を実施し、市民がより郷土の歴史に親しめるような環境づくりを図る。

事業実施の課題

施設の展示並びに体験学習等の充実化を図り来館者増をめざす。

事業概要

風土記の丘学習センター及び国府文化財保護センターの維持管理

計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
入館者数(人)	8,709	9,000	9,200

成果

高山市の歴史文化の保存・継承に寄与することができる。

要求額増減理由

|体験教材購入費や施設PR、また入館者用リーフレット増刷等に伴う増

文化	き」のあるまちを	we u c	
	土の歴史や伝統	*サルナウリカ	ル <i>Iート</i> ニフ
			八八日本の
	見しみ理解する	農芸の允美	
②実施計画・中期			
5 「ゆたかさ	」のあるまちをぬ	りざして	
文化			
ソフト	・ハード		
文化	比財保存施設等	管理事業 •	文化財保存施設等維持補修・改修事業
③事業評価			
			今後の方向性
事業名			
評価区分			
コスト・成果ポ	コスト	成果	7
ジション			1
実施方針	改善継続		
④市長の約束			

一般会計

予算要求課 **教育委員会事務局 文化財課 内線** 2356

金額の単位は、千円

款		教育費	項	4	社会教育費	目	8	文化財施設費
事	業名	94840	文化財施設管				•	

新規	継続	拡大	縮小
	0		

事業費(人件	-費除く)	H22当初予算額	H23要求額		財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		44,016	52,775	8,759		要求に対し積算内容を精査	45,053	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金		500	500	120	前年予算に対し事業量の増	120	
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他		194	194	194		194	
	一般財源	44,016	52,081	8,065	44,739		44,739	

以下は予算要求時の内容

事業の目的

・郷土の歴史に対して興味や関心を深め、次代に歴史文化を伝えていくために各施設や保管資料を適正かつ継続 的に維持管理していく。

事業実施の課題

- ・施設の機能強化、展示の充実を図り、市民がより郷土の歴史に親しめるような環境づくりを図っていく。
- ・国の文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業が新規事業として概算要望中で未確定である。

事業概要

・高山陣屋前広場ほか文化財施設の維持管理。

H21実績	H22見込	H23計画
24	24	24

成果

施設や歴史等資料を適正な管理により、これまでより多くの来場者を見込む。

要求額増減理由

・利用向上と保管資料の適正管理のための維持管理費の増額及び展示の充実を図るための経費増。

①総合計画			
(4)「ゆたかる	さ」のあるまちつ	くりをめざして	
文化			
(1)郷	土の歴史や伝統	抗文化を守り次	代に伝える
3	見しみ理解する	機械の充実	
②実施計画・中期	期財政計画		
5 「ゆたかさ	」のあるまちづ	くりをめざして	
(4)文化			
ソフト	・ハード		
文化	比財保存施設等	管理事業 ・	文化財保存施設等維持補修・改修事業
③事業評価			
 事業名			今後の方向性
			_
評価区分			⊣
コスト・成果ポ ジション	コスト	成果	_
実施方針			₫
④市長の約束			

金額の単位は、千円

款 9	教育費	項 4 社会	教育費	目	8	文化財施設費
事業名	94845	飛騨高山まちの博物館	ໄ特別展開催事業費			

新規	継続	拡大	縮小
	0		

事業費(人件	‡費除く)	H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
		1,180	4,624	3,444		要求に対し積算内容を精査	2,150	財務部査定どおり
	国庫支出金	0	0	0		飛騨高山まちの博物館のオープンに伴う特別展開催		
	県支出金	0	0	0		による増		
財源内訳	起債	0	0	0				
	その他	0	0	0	490		490	
	一般財源	1,180	4,624	3,444	1,660		1,660	

以下は予算要求時の内容

事業の目的

美術・歴史資料の展示を行い市民・観光客に高山市の多彩な歴史と魅力を発信し、郷土に対する愛着や誘客を図る。

事業実施の課題

- ・郷土の歴史・文化をいかにして多くの市民及び観光客に情報提供できるか。 ・城下町地域を中心とした市内各所をめぐる拠点施設とすること。

事業概要

博物館特別展の開催

計画·実績·見込	H21実績	H22見込	H23計画	
特別展入館者数(人)	5,701	休館中	10,000	

郷土の歴史について、広く啓発することができる。

要求額増減理由

・博物館リニューアルによる特別展開催経費の増

①総合計画			
(4)「ゆたかさ	「」のあるまちつ	くりをめざして	
文化			
(1)郷:	土の歴史や伝統	充文化を守りが	欠代に伝える
③	しみ理解する	機会の充実	
②実施計画・中期	財政計画		
5 「ゆたかさ	」のあるまちづ	くりをめざして	
(4)文化			
ソフト			
歴史	文化理解推進	事業・郷土先	人等顕彰事業
③事業評価			
事業名			今後の方向性
評価区分			
コスト・成果ポ ジション	コスト	成果	
実施方針		:	
④市長の約束			